

一般質問



近畿自動車道紀勢線の進捗状況

谷川 孝栄 議員 自由民主党/東紀州選出



問 12月7日、待ちに待った熊野川河口大橋を含む近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路の開通式を迎えます。三重県と和歌山県を結ぶ橋が通行止めとなった13年前の紀伊半島大水害からの復旧復興の証となる新宮紀宝道路の開通です。この後に続く熊野道路と紀宝熊野道路の進捗状況を伺います。

答 熊野道路については、令和3年度に用地取得が完了し、熊野市内各所において工事が着実に進められています。紀宝熊野道路では、地元の協力を得て、熊野道路から御浜町志原にかけて用地取得が順調に進んでおり、その先の地域についても用地取得に向けた準備が進んでいます。今後も引き続き関係者と連携し、あらゆる機会をとらえて国へ紀勢線の重要性を訴え、早期の全線開通に向け、取り組んでいきます。

その他の質問事項

- 三重県水産研究所の使命
- 放置船対策について ほか



チームMIEでクラウドファンディングを

喜田 健児 議員 新政みえ/松阪市選出



問 新たな財源確保のためにクラウドファンディングを活用する都道府県が増えており、官民連携による創意工夫あふれる事業が展開され、子どもや教育に関する取り組みにも多く用いられています。県においてもクラウドファンディングをより積極的に活用してはいかがですか。

答 寄附者が自治体の応援したい事業に寄附をしながら寄附金控除や返礼品を受けられるふるさと納税型のクラウドファンディングを活用する自治体が増えており、県でも来年度から開始できるよう準備を進めています。子どもや困難を抱えた方に対するクラウドファンディングを含めて、各部局に対して積極的な活用を求め、県内外の多くの方々に県の事業を応援いただけるよう取り組み、多様な財源の確保に努めます。

その他の質問事項

- 親なきあと、待機障がい者の問題について
- 三重県が発注する公契約を社会モデルに ほか



街路樹について

津田 健児 議員 自由民主党/四日市市選出



問 日本一街路樹が美しいといわれる仙台市では、街路樹の強剪定を行わないことはもとより、街路樹ごとにIDを付け、樹種や健康状態などをデータ化して維持管理しています。県においても、街路樹の一本一本を管理し整えていく方式に変えていくことが望ましいと考えますが、いかがですか。

答 県では、「花とみどりの三重づくり条例」の制定過程での有識者の意見等を踏まえ、街路樹の強剪定をやめるようにしていきます。今後は、全ての街路樹について1本ごとに健全度を診断し、その結果を基に街路樹台帳を作成し管理することで、街路樹本来の景観向上や環境保全、木陰形成などの機能が将来にわたり発揮され、交通安全等が確保された県民が誇れる街路樹となるよう、計画的な整備や維持管理に努めます。

その他の質問事項

- 再生可能エネルギーに関する検討会「提言」を受けての県の対応について
- エシカル消費について ほか



大規模地震を見据えた道路網の整備

荊原 広樹 議員 新政みえ/名張市選出



問 南海トラフ地震が発生した場合、県の沿岸部から内陸の名張市に避難する道路は、国道368号と165号の2本だけです。有事の際にこれらの道路が使えないということがあってはなりません。有事に備えるための、広域道路ネットワークの形成や緊急輸送道路の指定の考え方を伺います。

答 令和3年に策定した新広域道路交通計画において、災害に備えたりダンダンシー確保、国土強靱化等の観点から、広域道路ネットワーク強化に必要な路線を位置付けて、中長期的な視点で取り組んでいます。また、緊急輸送道路は、発災時の救助・救急・医療・消火活動や人員・物資の供給に必要不可欠な道路を指定し、優先的に土砂災害防止対策や橋梁の耐震補強、未改良区間の整備等の強靱化対策を進めています。

その他の質問事項

- カスタマーハラスメント対策
- 猫の適正飼養 ほか

用語解説 (2~3ページの「一般質問」に関するもの)

① 特定行為研修

看護師が手順書により、特定行為(診療の補助として看護師が手順書により行う場合、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為)を行う際に特に必要とされる考え方や知識、スキルの向上を図るための研修のことです。

② 200mL献血

全血献血には200mL献血と400mL献血があります。採血には複数の基準があり、このうち年齢と体重の基準は以下の表のとおりです。

全血献血		男性		女性	
		年齢	体重	年齢	体重
400mL	年齢	17歳~69歳		18歳~69歳	
	体重	50kg以上			
200mL	年齢	16歳~69歳			
	体重	45kg以上		40kg以上	

ただし、65歳から69歳の方については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限ります。

③ リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されていたりする様な性質のことです。

④ 強剪定(きょうせんてい)

主要な太い枝を短く切り詰めたり、多くの枝葉や芽を切り落としたりするような剪定のこと。一度に大量の枝や芽が落とされると、普通は枝葉を生じない場所から大量に枝葉が出てしまうため見た目も悪く、いびつな樹形となります。また、強剪定を繰り返すことで木が弱り、病気や倒木の原因となります。



改正食料・農業・農村基本法について

舟橋 裕幸 議員 新政みえ/津市選出



問 本年6月、農業の憲法ともいわれる「食料・農業・農村基本法」が改正され、基本理念に「食料安全保障の確保」が定められました。現在県が進めている「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例」の一部改正や同条例に基づく基本計画の見直しに、どのように反映していくのか伺います。

答 食料安全保障に対する県の役割は、安全・安心な農産物の安定的な生産および供給であると考えており、条例の改正にあたっては食料自給総合対策調査特別委員会からの提言も踏まえ「自給力の向上」を新たに位置付けます。また、基本計画でも、農畜産物における食料自給力の強化に注力して取り組めます。引き続き、農業関係者等の意見を伺いながら、「食料・農業・農村基本法」の基本理念に対応して、条例と基本計画の見直しを進めます。

その他の質問事項

- 津エアポートラインに対する支援について
- 三重県農業研究所整備について ほか